資料 No.１２－２

ふくい桜マラソン
2024 FUKUI SAKURA MARATHON

２０２４年3月３１日（日）開催

実施計画書

（案）

２０２２年2月

福井フルマラソン準備委員会

目次

1　全体概要

1　大会概要　・・・

1　全体概要

1 大会名称

ふくい桜マラソン（FUKUI SAKURA MARATHON）

【大会スローガン】

かける思い、サクラサク。

はしる・みる・ささえる、みんなの大会に懸（駆）ける思いが成就（サクラサク）するよう、前向きで明るいスローガンとしている。

【大会ロゴマーク】

大会を象徴する桜をランナーに見立てた「ふくい桜マラソン」のシンボル
ゴールの瞬間、切られたテープがシュプールとなり、福井（FUKUI）の頭文字Ｆが浮かびあがる躍動感のあるロゴマークとしている。

2 主催

ふくい桜マラソン実行委員会 （仮称） ※準備委員会構成団体およびその他関係団体で組織予定

3 主管

（一財）福井陸上競技協会

4 開催日時

2024年（令和6年）3月31日（日） 8：30

5 種目・定員・スタート時間・制限時間

種目	定員	スタート時間	制限時間
マラソン（42.195km）	13,000人	8：30	7時間
ペアリレーマラソン（2人１組）	100組200人		
ファンラン（5km）	1,300人		1時間
ユニバーサルラン（1km）	500人	8：50	20分

※このほか、オンラインマラソンを併設予定

6 競技規則

2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定による
（日本陸上競技連盟の公認大会とする）

7 参加資格

(1) マラソン　　／ 18歳以上で制限時間内に完走できる者
(2) ペアリレーマラソン ／ 18歳以上の2人1組で制限時間内に完走できる者
(3) ファンラン　　／ 中学生以上で制限時間内に完走できる者
(4) ユニバーサルラン　／ 小学生以上で制限時間内に完走できる者

※(1)～(2)は、障がいのある方で単独走行が困難な場合は伴走者最大2人（伴走できるのは1人ずつ）、(3)～(4)は、伴走者1人をつけることができる（いずれも盲導犬不可）
※(4)のみ車いす・ベビーカーでの参加可能

8 参加料

マラソン　10,000円以上　※他大会の状況も踏まえ引き続き検討

9 ランナー募集

インターネットおよび郵便振替による申し込みとし、定員を超えた場合は抽選

10 ランナー受付

大会の前日、JR福井駅周辺で実施を検討　※必要に応じて前々日の実施も検討
また、参加受付に合わせ「おもてなしイベント（マラソンエキスポ）」を開催

11 大会コンセプトおよび大会の特徴

基本計画のコンセプトに基づき、全国に誇れる「ふくい桜マラソン」を目指す。

● 福井発の全国に誇れるとんがったフルマラソン
● 全都道府県で一番最後だけど一番新しい、新世代のフルマラソン

○ 美しい桜、新幹線との競争、恐竜をイメージしたコースで福井の魅力を発信 【1-2 コース図】

○「福井を走って世界を目指す」トップランナーの輩出、県内ジュニア選手の育成
- 著名ランナーを大会プロデューサーに迎え、箱根駅伝等で活躍したランナーの招待・成績上位者の活動支援（応援ファンド）等により、世界を目指すランナーを輩出
- 福井を走り世界を目指す若手ランナーの合宿、県内ジュニア選手との合同練習、育成

【3-4 トップランナーの支援・活用計画】

○ デジタル技術を活用した新たなフルマラソン大会を追求

<マラソン×ヘルスケア>
- バイタルデータを活用し、ランナーの日常の健康増進やパフォーマンスの向上を図り、大会での自己ベスト更新をサポート

【3-1 参加者拡大・機運醸成計画】

<マラソン×バーチャル>
- コースのバーチャル体験・名所ＰＲにより、本人・家族・友人みんなが楽しめる大会に
- 大会当日を含め、年間を通したオンラインによるラン＆ウォークイベントの開催

【3-1 参加者拡大・機運醸成計画】【3-2 沿道応援・おもてなし計画】

● はしる、みる、ささえる ＋ つながる フルマラソン

○ ランナー・応援・ボランティア、関係者みんなの満足度を高め、多くのリピーターを獲得

【2-9 ボランティア計画】【4-1 地域への経済波及計画】

美しい桜、新幹線並走の新九頭竜橋(仮称)、恐竜、福井の魅力を国内外に発信するコースを設定

（日本陸上競技連盟の公認を取得予定）

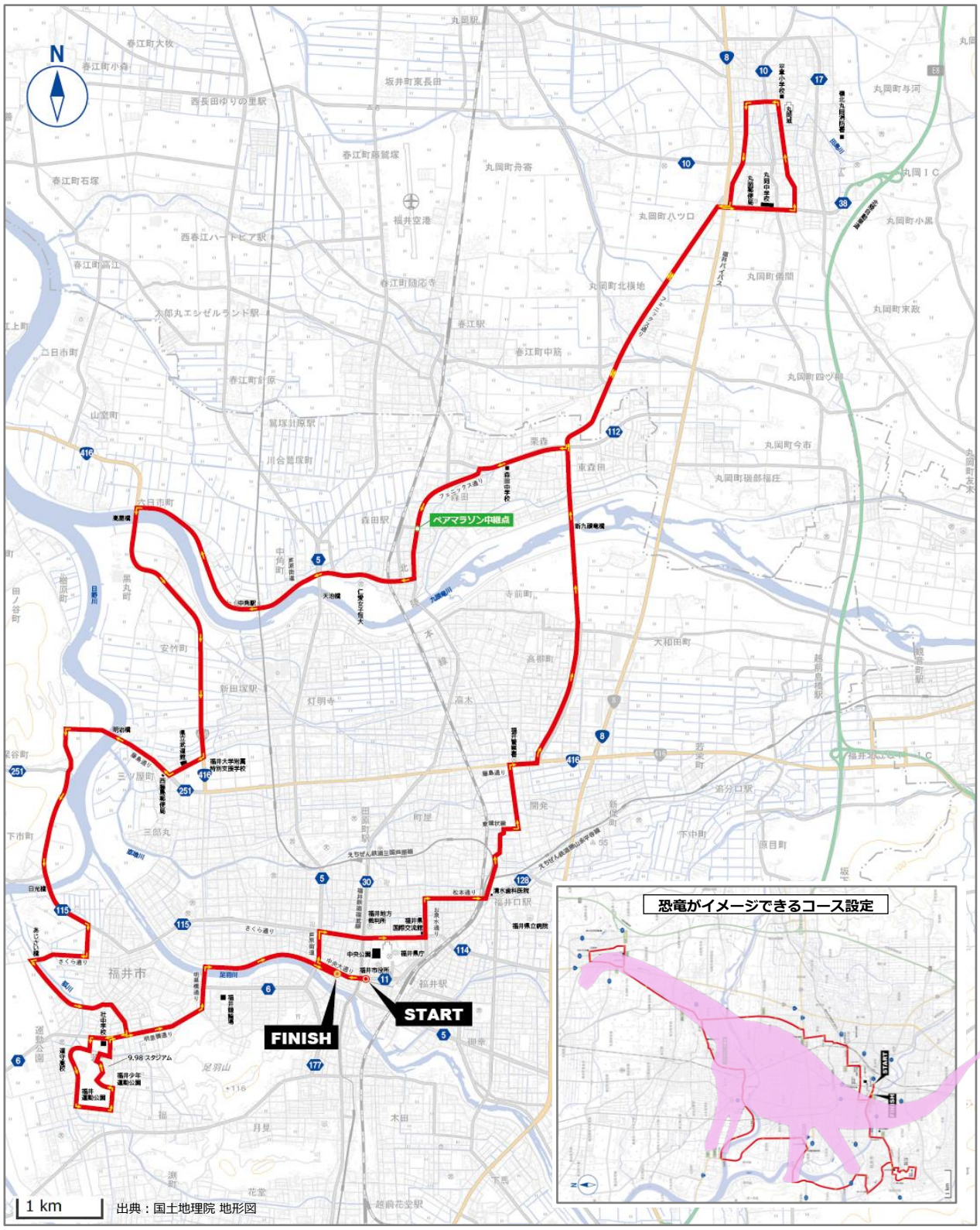
マラソン

START　：大名町交差点付近

FINISH ：片町入口交差点付近

ﾒｲﾝ会場　：福井市中央公園

【コース概要】
START→さくら通り→松本通り→藤島通り→新九頭竜橋(仮称)→フェニックス通り→丸岡城→【ﾍﾟｱﾏﾗｿﾝ中継点】ＪＲ森田駅付近→九頭竜川河川敷→高屋橋→明治橋→日光橋→狐川河川敷→9.98スタジアム→明里橋通り（足羽山）→足羽川河川敷→**FINISH**



※今後の調整で変更となる場合がある。

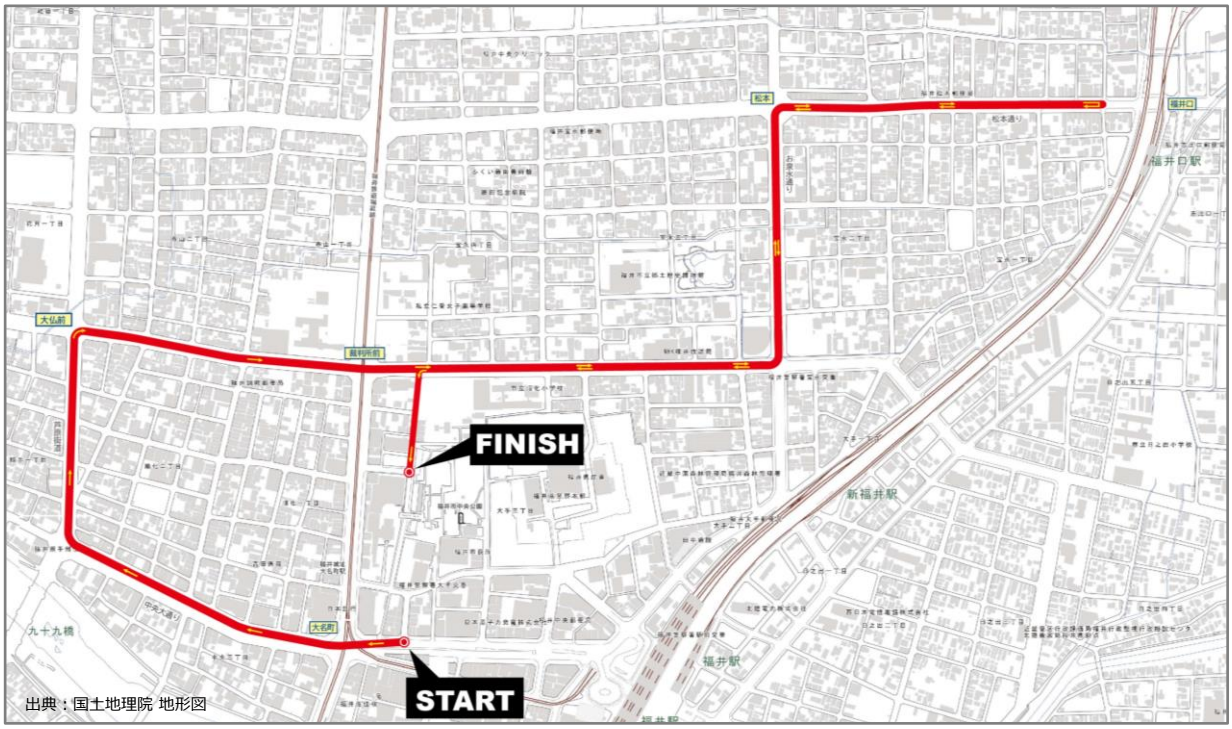
ファンラン

START ：大名町交差点付近

FINISH：福井市中央公園

【コース概要】

START→さくら通り→松本通り→さくら通り→FINISH



※今後の調整で変更となる場合がある。

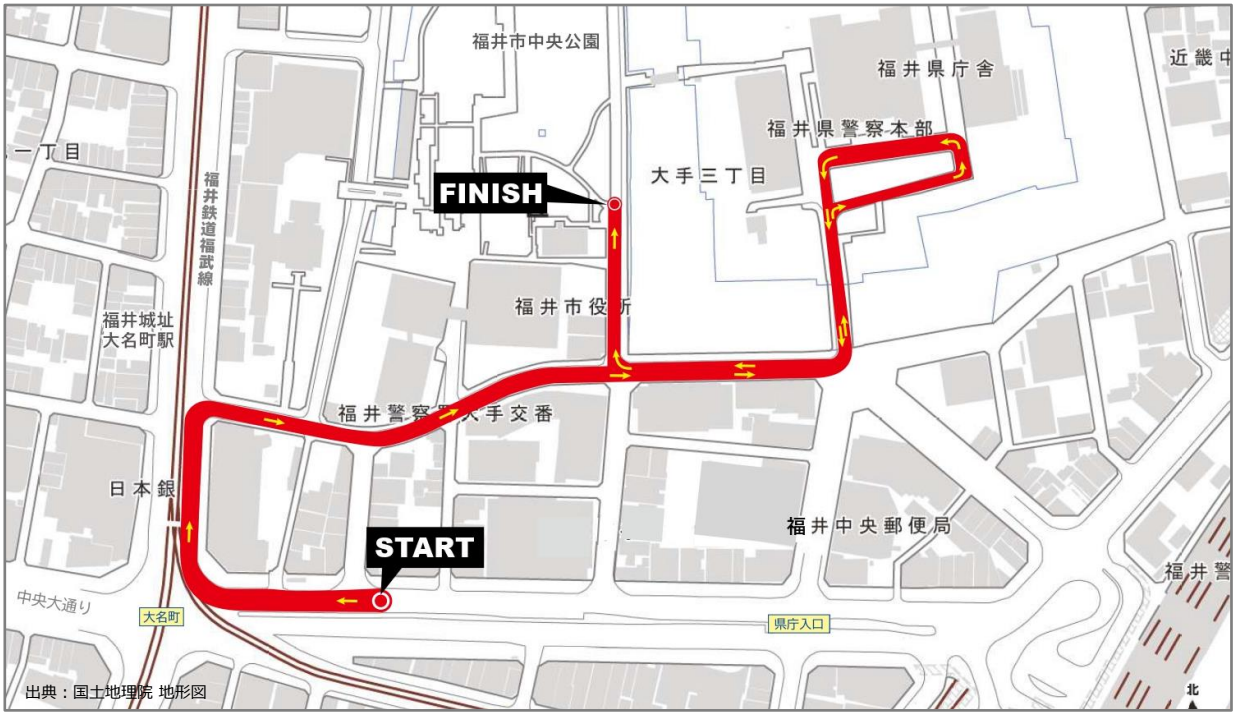
ユニバーサルラン

START ：大名町交差点付近

FINISH：福井市中央公園

【コース概要】

START→フェニックス通り→県庁→FINISH



※今後の調整で変更となる場合がある。

前日

時間	ふくい桜マラソン	関連イベント
10:00	ランナー受付 10：00～19：30	おもてなしイベント （マラソンエキスポ） 10：00～20：00 福井駅前
19:30		
20:00		

大会当日

時間	ふくい桜マラソン	関連イベント
8:00	スタートセレモニー	
8:30		
9:00	ふくい桜マラソン開催 8：30～15：30 （制限時間7時間）	フィニッシュイベント （ステージ・グルメ等） 9：00～16：00 福井市中央公園
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00		
16:00		

2　大会運営計画

基本的な考え方

○ 北陸新幹線福井・敦賀開業によって本県へのアクセスが向上することに加え、駅前スタート・フィニッシュという高い利便性を活かし、国内外から幅広く参加ランナーを募集する。

1 募集手段

インターネット（WEB）エントリー　※郵便振替を一部併用

2 募集方法

応募者多数の場合、抽選で参加者を決定する。

3 募集区分

以下の区分を想定するが、引き続き検討する。

<table>
<tr><th colspan="3">区分</th><th>内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">一般枠</td><td>抽選</td><td>日本陸上競技連盟登録競技者、その他一般参加者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">県民・市民枠</td><td>福井・坂井市民枠</td><td rowspan="2">〃</td><td>福井市・坂井市民向けの優先枠</td></tr>
<tr><td>福井県民枠</td><td>上記以外の県民向けの優先枠</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャリティ枠</td><td>先着</td><td>ふくい桜マラソンの特徴的な取り組みに支援いただける参加者向けの優先枠</td></tr>
<tr><td colspan="2">ふるさと納税（福井応援）枠</td><td>〃</td><td>ふるさと納税で福井を応援いただける参加者向けの優先枠　※県外在住限定</td></tr>
<tr><td colspan="2">出走権付き宿泊枠</td><td>〃</td><td>出走権と宿泊がセットになった商品を購入した参加者向けの優先枠</td></tr>
<tr><td colspan="2">海外在住枠</td><td>〃</td><td>インバウンド優先枠</td></tr>
<tr><td colspan="3">その他</td><td>県内トップランナー等の招待枠
ボランティア参加者招待枠（第2回以降）　など</td></tr>
</table>

※県民・市民枠で抽選漏れとなった場合、一般枠で再抽選を実施

4 スケジュール

以下のスケジュールを想定するが、引き続き検討する。

2023年8月下旬	**募集要項発表**	・大会概要 ・エントリー方法等について
2023年9月頃	**募 集 開 始**	・インターネット(WEB)エントリー ・募集区分によって開始時期を調整
	募集期間：約1か月	
2023年10月頃	**募 集 締 切**	・応募者多数の場合は抽選
	抽 選 作 業	・当選者決定
2023年11月頃	**抽選結果通知・入金案内**	・通知メール配信 ・当選者は指定期日までに参加料入金
	参加料入金締切	※支払期限日までに入金が完了されない場合は当選を無効にする。
2023年12月上旬	**参加ランナー確定**	

4か月

※必要に応じて２次募集を実施

2次抽選

2次入金締切

参加ランナー確定

基本的な考え方

○ 大会の前日までにアスリートビブス（ゼッケン）・計測チップ等を参加ランナーに配布することで、大会当日は速やかに更衣、手荷物預け等を完了させ、円滑なスタートを実施する。

1 受付方法

特設会場における事前受付を検討する。

2 受付会場

JR福井駅付近で会場を選定する。

開催日程 ／ 2024年(令和6年)3月30日(土) 10：00～20：00
※必要に応じて前々日（29日）の開催を検討

その他 ／ 受付に合わせ「おもてなしイベント（マラソンエキスポ）」を同時開催
※参加ランナー以外も入場可

【参考】福井駅周辺図

名称	床面積	備考
福井市体育館	約1,700㎡ 約1,100㎡	メインアリーナ サブアリーナ
フェニックスプラザ	約1,480㎡ 約350㎡	大ホール客席・ホワイエ 小ホール客席・ホワイエ
福井県県民ホール（アオッサ）	約520㎡	客席・ホワイエ
ハピリンホール（ハピリン）	約580㎡	客席・ホワイエ
ハピテラス（ハピリン）	約630㎡ 約390㎡	屋根付き 屋根なし

3 ランナーフロー

ランナー

大会前日

事前受付会場

【受け取るもの】
1．アスリートビブス、計測チップ、安全ピン
2．手荷物預け用物品（袋、シール）
3．参加賞、大会プログラム、広告物など

大会当日

スタート

1．スタート会場に集合
2．更衣・手荷物預け・トイレ等
3．あらかじめ指定されたスタートブロックに移動
4．ブロック毎に順次スタート

コース走行　※関門あり

フィニッシュ

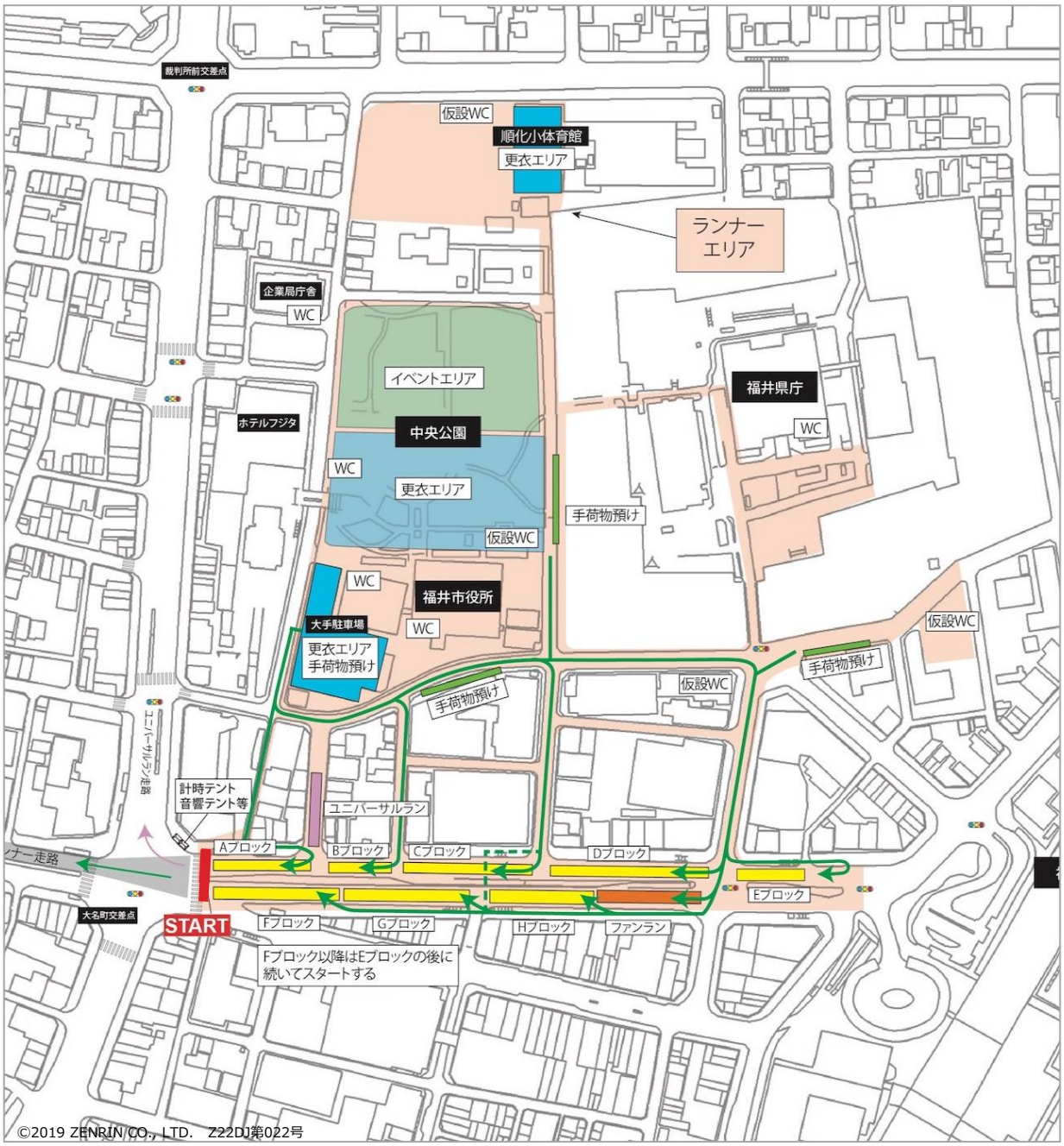
1．フィニッシュ
2．計測チップの回収、給水・給食等のランナーサービス
3．手荷物を受け取り、各自解散

基本的な考え方

- ○ メイン会場の福井市中央公園には、総合案内、更衣テント、仮設トイレ等を設置する。
- ○ 近隣施設も活用し、手荷物預かり所(トラックも併用)、更衣室、仮設トイレを設置する。
  ※各施設は例示とし、今後調整
- ○ マラソンの部は予想タイム順にスタートブロックを割振り（A～H）
- ○ マラソンスタート後、ユニバーサルランが待機列から移動してブロック整列する。

会場レイアウト

以下を想定するが、引き続き検討する。



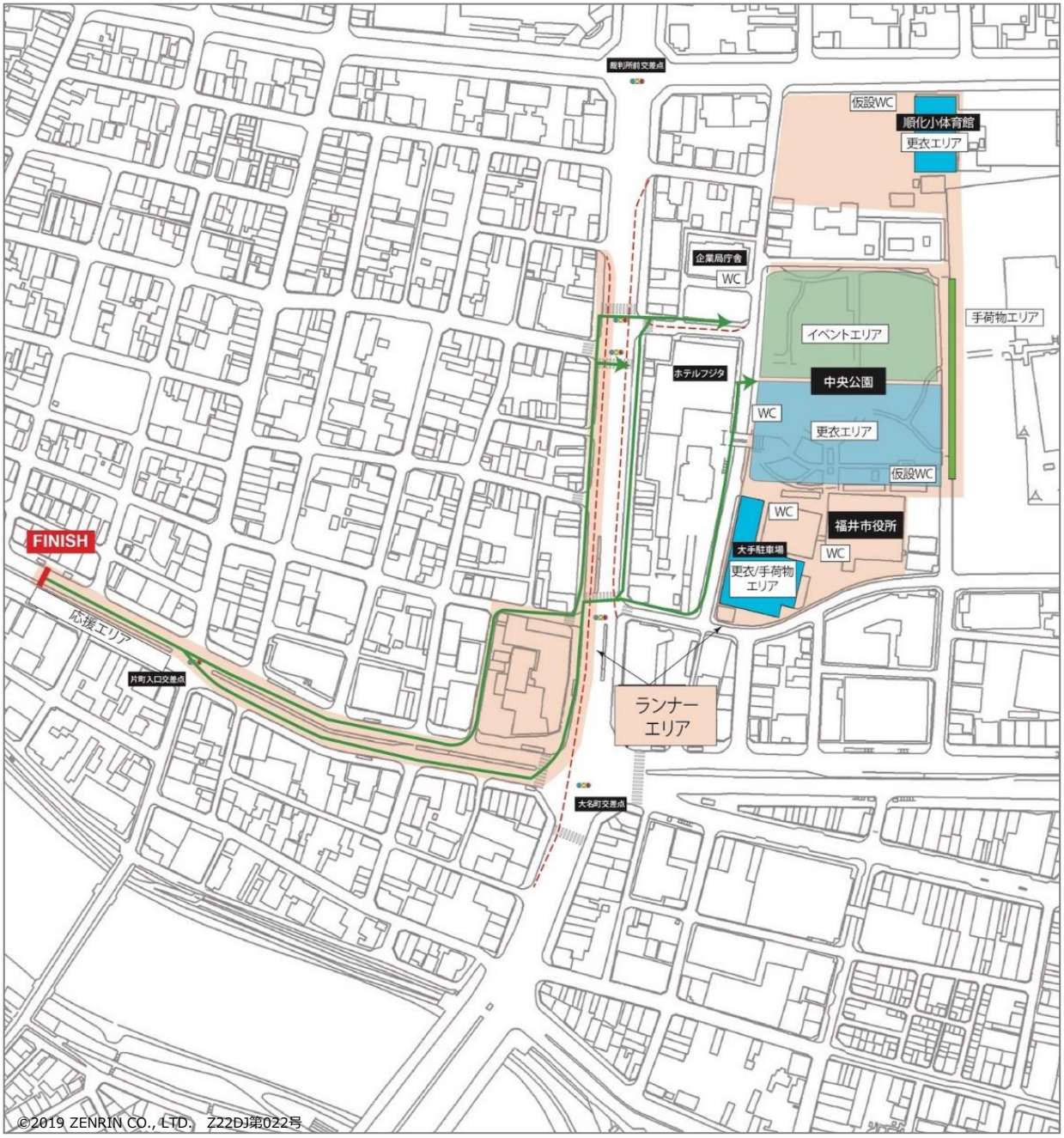
基本的な考え方

○ フィニッシュ後、本町通り上でランナーサービス（完走メダル・タオル・給水等）と計測チップ回収を実施する。

○ フェニックス通りを横断する地点には、一部交通規制を実施し、警備員を配置してランナーの安全確保を図る。（フェニックス通りは南北に通行可）

会場レイアウト

以下を想定するが、引き続き検討する。



基本的な考え方

○ スタートから5km以降、概ね2.5km間隔で給水・給食所（エイドステーション）を設置する。

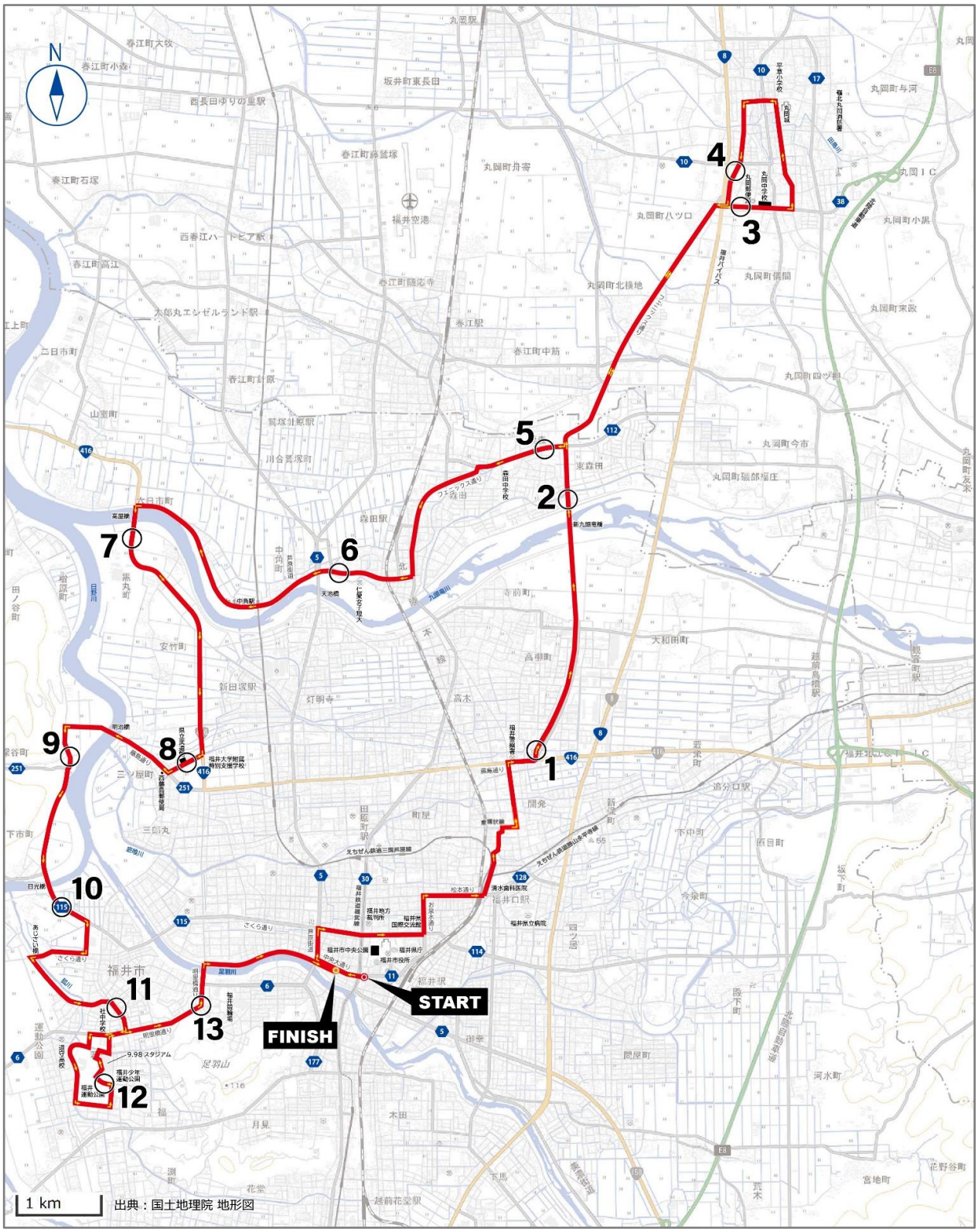
1 給水・給食所設置検討箇所一覧

以下を想定するが、引き続き検討する。

	地点名	距離	地点間距離	提供物		
				スポドリ	水	給食
第1	開発町西信号付近	5.5 km	5.5 km	○	○	
第2	新九頭竜橋北詰付近	8.5 km	3.0 km	○	○	
第3	八ツ口信号付近	12.6 km	4.1 km	○	○	
第4	県道瓜生今福線終点付近	15.7 km	3.1 km	○	○	
第5	フェニックス通り福井市栗森町付近	19.7 km	4.0 km	○	○	○
第6	芦原街道アンダーパス付近	23.2 km	3.5 km	○	○	
第7	高屋橋南詰付近	26.7 km	3.5 km	○	○	○
第8	県立武道館付近	29.5 km	2.8 km	○	○	○
第9	県道本郷福井線深谷町付近	31.6 km	2.1 km	○	○	○
第10	福井市西体育館付近	33.6 km	2.0 km	○	○	
第11	社北小信号付近	36.0 km	2.4 km	○	○	○
第12	福井運動公園公園事務所付近	38.5 km	2.5 km	○	○	
第13	明里三差路付近	40.4 km	1.9 km	○	○	○

- 各給水・給食所では、スポーツドリンクと水を提供するほか、10km以降は給食物を提供する。なお、給食には地元の食材・食品を提供し、福井の魅力を発信する。
- 安全かつ円滑な運営のため、給水・給食所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ドリンク、給食物の衛生面に配慮した運営を行う。
（手指消毒の実施、マスク・ビニール手袋の着用等）
- 交通規制開始後、車両が通行していないことを確認したうえで設置を開始する。
- ランナーの走行の妨げにならないよう留意し、接触には十分注意する。
- 子ども達が主役の「つぼみ（キッズ）エイド」を設置する。

2 給水・給食所設置検討箇所図



基本的な考え方

○ ランナーが快適に走行できるよう、概ね2km間隔でコース沿道にトイレを設置する。

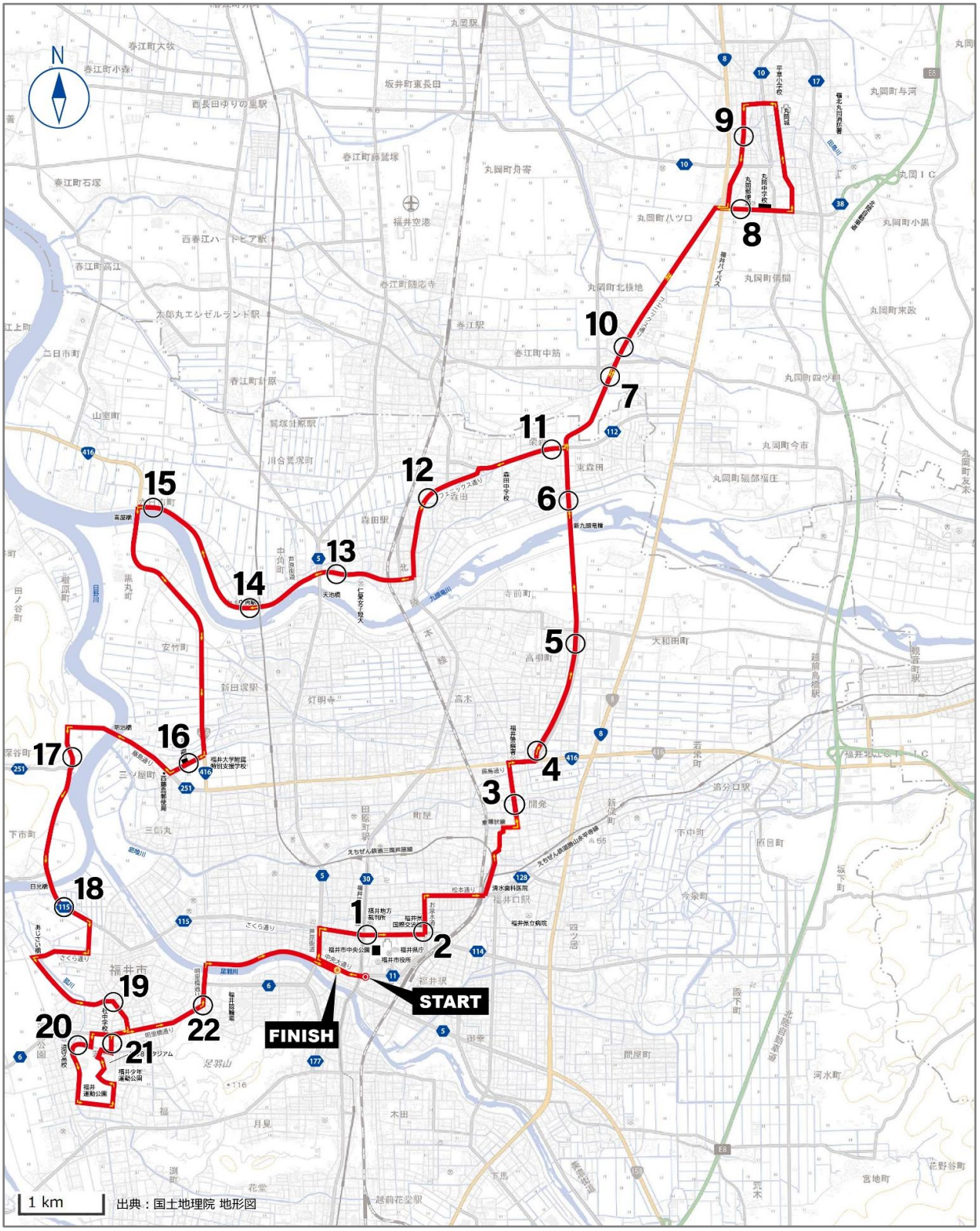
1 ランナートイレ設置検討箇所一覧

以下を想定するが、引き続き検討する。

	地点名	距離	地点間距離
START	スタート会場	―	―
第1	裁判所前信号付近	1.5 km	1.5 km
第2	宝永信号付近	2.3 km	0.8 km
第3	開発郵便局付近	4.6 km	2.3 km
第4	開発町西信号付近	5.5 km	0.9 km
第5	高柳北信号付近	6.9 km	1.4 km
第6	新九頭竜橋北詰付近	8.5 km	1.6 km
第7	磯部小西入口信号付近	10.1 km	1.6 km
第8	八ツ口信号付近	12.6 km	2.5 km
第9	坂井市丸岡総合支所付近	15.4 km	2.8 km
第10	南横地信号付近	18.3 km	2.9 km
第11	フェニックス通り福井市栗森町付近	19.7 km	1.4 km
第12	フェニックス通り福井市栄町付近	21.4 km	1.7 km
第13	芦原街道アンダーパス付近	23.2 km	1.8 km
第14	中角駅付近	24.2 km	1.0 km
第15	高屋橋北詰付近	26.1 km	1.9 km
第16	県立武道館付近	29.5 km	3.4 km
第17	県道本郷福井線深谷町付近	31.6 km	2.1 km
第18	福井市西体育館付近	33.6 km	2.0 km
第19	社北小信号付近	36.0 km	2.4 km
第20	福井運動公園第4駐車場付近	37.1 km	1.1 km
第21	社中学校付近	39.3 km	2.2 km
第22	明里三差路付近	40.4 km	1.1 km
FINISH	フィニッシュ会場	42.195 km	1.8 km

- 沿道の公共施設や駐車場等の協力を得て仮設トイレを設置する。
- 沿道の民間施設などにも協力を要請し、多くのランナートイレを確保する。

2 ランナートイレ設置検討箇所図



基本的な考え方

○ 主要交差点や幹線道路の速やかな交通規制解除を考慮し、概ね5km間隔で収容関門を設置する。

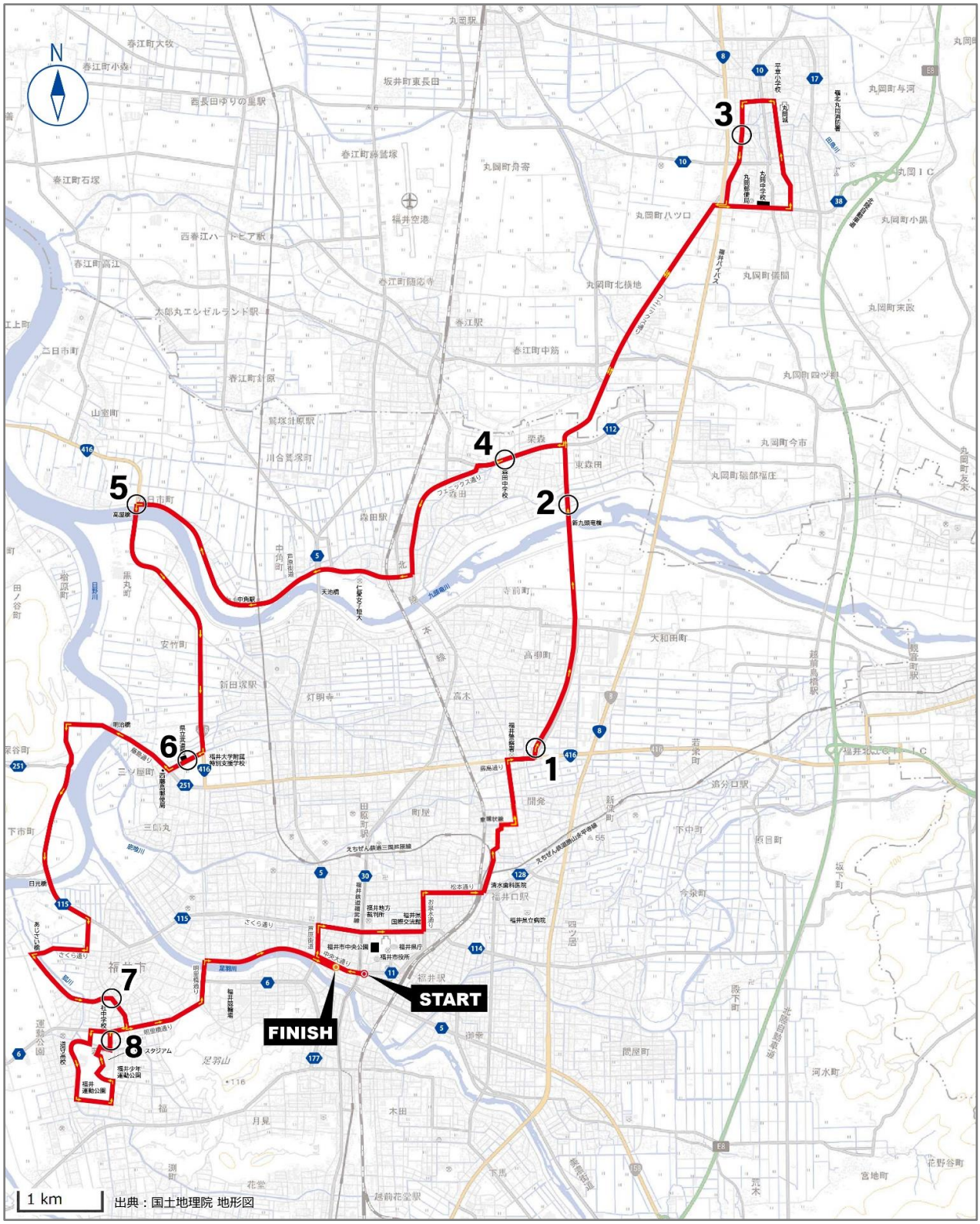
1 収容関門設置検討箇所一覧

以下を想定するが、引き続き検討する。

	地点名	距離	地点間距離
第1	開発町西信号付近	5.5 km	5.5 km
第2	新九頭竜橋北詰付近	8.5 km	3.0 km
第3	坂井市丸岡総合支所付近	15.4 km	6.9 km
第4	森田中学校付近	20.5 km	5.1 km
第5	高屋橋北詰付近	26.1 km	5.6 km
第6	県立武道館付近	29.5 km	3.4 km
第7	社北小信号付近	35.9 km	6.4 km
第8	社中学校付近	39.3 km	3.4 km

- 交通規制解除の時刻を考慮した場所に収容関門を設置する。
- 制限時間まで概ねイーブンペースで走れる時間を基準に、各収容関門の閉鎖時刻を設定する。
- 収容関門の付近には、収容バスが待機できる駐車スペースを確保する。
- 他の同規模大会の収容されたランナー数を参考に、各収容関門の収容バス数を算出する。
- 収容されたランナーへの体調管理のため、収容関門付近に救護所を設置する。

2 収容関門設置検討箇所図



基本的な考え方

○ 安心・安全なマラソン大会とするため、スタート・フィニッシュ会場のほか、コース沿道に概ね5km間隔で救護所を設置し、ランナーの応急処置・一次救命を実施する。

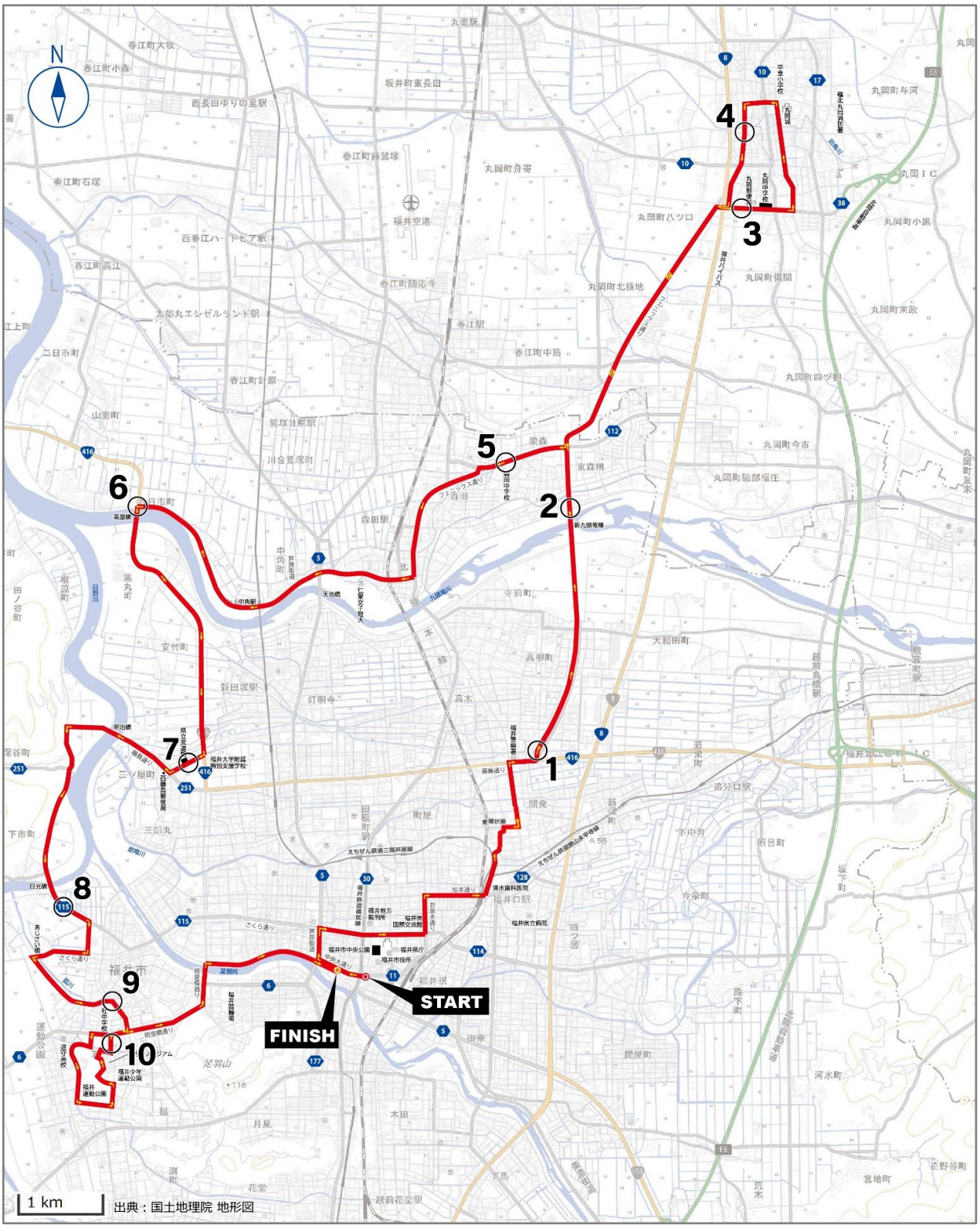
1 救護所設置検討箇所一覧

以下を想定するが、引き続き検討する。

	地点名	距離	地点間距離
START	スタート救護所	―	―
第1	開発町西信号付近	5.5 km	5.5 km
第2	新九頭竜橋北詰付近	8.5 km	3.0 km
第3	八ツ口信号付近	12.6 km	4.1 km
第4	坂井市丸岡総合支所付近	15.4 km	2.8 km
第5	森田中学校付近	20.5 km	5.1 km
第6	高屋橋北詰付近	26.1 km	5.6 km
第7	県立武道館付近	29.5 km	3.4 km
第8	福井市西体育館付近	33.6 km	4.1 km
第9	社北小信号付近	35.9 km	2.3 km
第10	社中学校付近	39.3 km	3.4 km
FINISH	フィニッシュ救護所	42.195 km	2.9 km

- 救護本部をスタート・フィニッシュ会場の大会運営本部内に設置、各救護所などの情報を集約して、必要な判断・指示を行う。
- 各救護所には医師・看護師と救護車両を配置する。
- コース上には自転車AED隊（複数チーム）やドクターランナー※の配置を行う。
  ※ランナーと一緒に走りながら、緊急時に傷病者への初期対応を実施
- 医師会、看護協会、医療系大学等の協力を得て、必要な救護スタッフを確保する。
- 消防と連携し、緊急時の通報ルート・搬送体制を構築し、迅速な緊急搬送体制を確立する。

2 救護所設置検討箇所図



基本的な考え方

○ 大会の運営に欠かせないボランティアを確保するため、「団体ボランティア」と「個人ボランティア」と区別し、必要人員の確保を目指す。

○ ボランティアの募集、登録、研修、配置、連絡調整等の業務全般を行う「ボランティアセンター」を開設する。

○ ボランティアにとっても満足度が高く、活動のつながりを継続できる仕掛けを検討・実施する。

1 活動内容

大会前日（前々日）／ 事前受付会場におけるランナー受付、誘導等

大会当日　／ スタート・フィニッシュ会場での誘導、手荷物預かり・返却、記録証発行等
コース上での給水・給食、救護補助、沿道整理補助等

2 募集区分

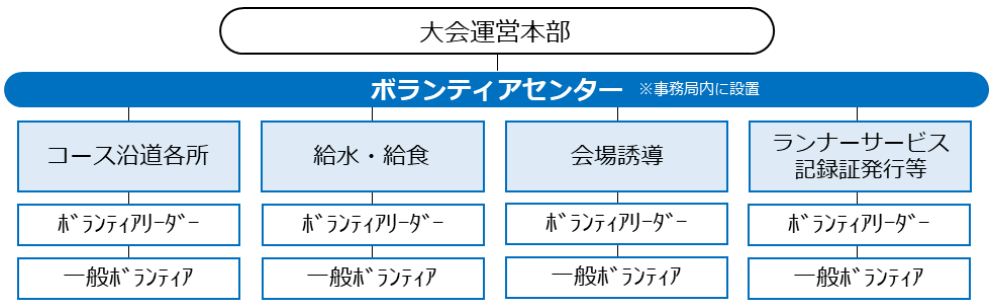
区分	定義	募集数（概算）	募集時期（想定）
団体ボランティア	協賛企業、学生、沿線自治会、地元団体など、十人～数十人単位で組織し活動していただくボランティア	3,000～3,500人程度	2023年夏頃～11月頃
個人ボランティア	個人(1人)またはグループ・ファミリー（2～5人程度）のボランティア		

3 参加資格

- 個人・団体ともに従事日現在で15歳以上の者であること
  （小・中学生は保護者または教職員の同伴の場合に限り参加可能）
- 従事日に事務局指定の場所・時間で活動ができること
- 外国人の方は、日本語の日常会話と読み書きができること
- 団体での申し込みの際は、申込者でボランティアリーダーを選出すること
  （1団体につき1名のボランティアリーダーを選出）
- その他、主催者が定める参加事項を遵守できること　　など

4 ボランティア組織体制の構築

- ボランティアの募集、登録、研修、配置、連絡調整等の業務全般を行う「ボランティアセンター」を開設する。
- 各セクションでボランティアを取りまとめ、指揮命令を行うボランティアリーダーを養成・配置する。



5 待遇等

- 主催者側でボランティアの傷害保険に加入する。
- ボランティアには、スタッフウエア・キャップを支給する。
  ※報酬、交通費、食費の支給なし（500円程度の金券の支給について検討）

6 確保対策（満足度向上対策）

- ボランティア限定イベントの開催(お疲れ様会など)や次年度大会の優先出場枠の設定など、参加者特典の設定を行う。
- 「おもてなしの部」を創設し、ボランティア各自の主体的な取り組みを表彰する。
- ボランティア参加回数等に応じたマイスター制度を整備する。
- ２年前イベント、プレ大会の開催を通じてボランティア・ボランティアリーダーを育成する。

など

基本的な考え方

○ ふくい桜マラソンを安全で事故のない大会とするため、主催者、警備員、警察官、スタッフが共通認識するための交通規制・警備マニュアルを作成する。

1 交通対策

- 警察と連携し、交通規制内容並びに規制開始・解除に係る要領を策定する。
- 緊急車両の通行確保を計画する。
- 直近および広域迂回路誘導を計画する。
- 路上駐車と路上駐輪の防止を徹底する。
- ランナーのスタート地点集合のため、交通輸送計画を策定する。

2 雑踏対策

- 集合・離散時におけるランナーおよび同伴者の雑踏警備を計画する。
- 一般観客の滞留箇所等の雑踏警備を計画する。
- 指定横断箇所等の観客誘導を計画する。

3 資機材配置対策

- 資機材の運搬、設置、撤去、回収までの一連の配置計画を策定する。

4 人員配置対策

- 広域な警備配置を円滑に指揮するための各現場責任者を配置する。
- 広域無線・携帯電話を使用し、連絡体制を構築する。
- 警備員、スタッフ、ボランティア等、業務内容に応じた適切な配置を行う。

5 危機管理対策

- 緊急時の避難誘導計画を策定する。
- テロ対策等、不審物の検索計画を策定する。
- 地震・大雨などの自然災害や、テロ予告、大規模事故などが発生した場合、適切に大会中止の判断や対応を適切に行うための計画（大会中止判断計画）を策定する。

2-11 交通総量抑制計画

基本的な考え方

○ ノーマイカーデーの設定や交通規制図・看板表示による事前周知を徹底することで、大会当日の交通総量を抑制し、交通渋滞の緩和を図る。

1 ノーマイカーデーの設定

大会当日（3/31）をノーマイカーデーに設定し、福井市・坂井市周辺の住民や事業者を中心にマイカー自粛を積極的に呼び掛け、交通総量の抑制を図る。
（新聞、テレビ、ラジオ、公共交通機関等、様々な媒体を活用）

2 コース沿道調整

住民・事業者等に対して幅広く交通規制の周知を行う。特に、コース沿道の住民等にはきめ細かく周知を図り、マラソン開催の理解促進と交通総量の抑制を働きかける。
（自治会向けの説明会、チラシの全戸配布等）

3 事前告知看板等の設置

道路上に設置する事前告知看板や横断幕、道路情報板などの交通広報も活用し、ドライバーへの周知を図る。

3　大会・地域の盛り上げ計画

基本的な考え方

○ 多くの県民・市民にランナーとして参加していただき、一緒に盛り上げを行っていくため、年間を通したラン＆ウォークイベントの開催や、県内マラソン大会との連携、ランニングクラブ活動の活性化を進めるほか、デジタル技術を活用したランナーのヘルスケアなど、県内にランニングブームを創出していく。

1 年間を通したラン＆ウォークイベントの開催

令和３年度に実施した「北陸ふくい３０Ｋ」や「さつき・ラン＆ウォーク」、「オクトーバー・ラン＆ウォーク」など、年間を通してリアル・オンラインによるイベントを開催していくことで、大会開催に向けた話題作りとランナーのモチベーション維持・向上を図る。

【実施イメージ(令和４年度)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
リアル			ランニングイベント（マラニック）		ランニングイベント（リレーマラソン）	
	年間オンラインイベント（ポイント獲得期間①）					
オンライン	オンラインイベント	さつき ラン&ウォーク				
県内マラソン大会	若狭レインボーマラソン OBAMA若狭マラソン	五木ひろしマラソン あわらトリムマラソン 鯖江つつじマラソン 大野名水マラソン	勝山恐竜クロカンマラソン 若狭あじさいマラソン FBCリレーマラソン	南越前町花はす早朝マラソン		おおい健康マラソン 朝倉トレイルラン

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	北陸ふくい30K					1年前プレ大会
	年間オンラインイベント（ポイント獲得期間②）					
	オクトーバー ラン&ウォーク		講演会	オンラインイベント	オンラインイベント	
	能楽の里池田マラソン 敦賀マラソン 坂井しおかぜクロカンマラソン 若狭高浜はまなすマラソン	越前市菊花マラソン 坂井市古城マラソン				足羽川ふれあいマラソン

年間オンラインイベント

SPORTS TOWN WALKER

オクトーバー・ラン&ウォーク等で使用する**ウォーキングアプリ「スポーツタウンウォーカー」を活用して年間のオンライン・ラン＆ウォークイベント**を開催！

毎日の歩数や県内マラソン大会等への参加に応じて、福井県独自の地域ポイントを付与　⇒　**ポイントは景品と交換（抽選）**

ex.1日1万歩＝10pt、マラソン大会参加＝100ptなど

2 県内マラソン大会との連携やランニングクラブ活動の活性化

県内のマラソン大会やランニングクラブと一緒になって大会に向けた盛り上がりを創出する。

その１ キャラバン隊によるＰＲ活動

- キャラバン隊を県内マラソン大会等に派遣し「ふくい桜マラソン」をＰＲ
  ※マラソン大会のほか、スポーツイベントやショッピングセンターにも派遣

その２ デジタルバウチャー・地域ポイントの発行

- 県内マラソン大会を「ＧｏＴｏスポカル」(ふく割)やスポーツタウンウォーカーの地域ポイント付与対象イベントに設定(再掲)しランナー・応援者の来場を促進
  ※キャラバン隊の活動に合わせ、各イベントのＰＲブースにＱＲコードを配置

その３ 大会ＰＲサポーター隊による情報発信

- 大会ＰＲサポーター隊（地元テレビ局アナウンサーや市民ランナー）の日々の練習や県内外のマラソン大会への出場などを通して、大会を全国にＰＲするとともに、活動の様子をテレビ・ＳＮＳ等で情報発信

その４ 街中ランニングコース・ランニングステーションの利活用

- 令和３年度中に整備する街中ランニングコースやランニングステーションの利活用推進を図るため、コース等を活用した定期的なミニイベントをランニングクラブの協力も得ながら実施

このほか、各マラソン大会の上位入賞者を本大会に招待する枠組みを検討する。

3 デジタル技術を活用した新たなフルマラソン大会を追求「マラソン×ヘルスケア」

ランニングアプリをはじめデジタル技術を活用し、ランナーのバイタルデータを日常の健康増進やパフォーマンスの向上につなげるサービスを企画・提供する。

基本的な考え方

○ 桜を感じることができる華やかな演出や、ランナーを応援し盛り上げる様々なパフォーマンスなど、コース沿道でランナーと住民が触れ合えるイベントを実施する。
○ デジタル技術を活用して楽しく応援できるツールを開発する。

1 桜を感じることができる華やかな演出

スタート地点や沿道における桜の演出、フィニッシュ地点におけるフォトブースの設置など、華やかな演出を実施する。

（演出例）桜吹雪、さくら色の手袋による応援など

2 応援ステージ・応援スポットの設置

コース沿道の各地点にランナーの応援拠点を設置する。

その１ 応援ステージ

- チアダンスやよさこいなどのパフォーマンスチームによる応援を実施
  設置想定場所：福井運動公園、坂井市丸岡総合支所

その２ 応援スポット

- 地域の伝統芸能(踊り・太鼓等)など、地元住民等による応援を実施
  設置想定場所：コース沿道10か所程度

3 つぼみ（キッズ）エイドの設置

子ども達が主役となるエイドステーションを設置してランナーをお迎えするとともに、子ども達がマラソンを身近に感じることで、未来のランナーを目指すきっかけを作る。

4 ふくい桜マラソン応援事業の募集

市民団体や学校、企業等が企画する、ふくい桜マラソンを盛り上げるイベントの公募を行う。

（企画例）沿道での応援メッセージ(のぼり等)の掲出、クリーン作戦など

5 デジタル技術を活用した新たなフルマラソン大会を追求「マラソン×バーチャル」

桜の美しいマラソンコースのバーチャル体験、福井の名所ＰＲにより、ランナー本人、応援する家族・友人みんなが楽しめるデジタルツールを開発する。

基本的な考え方

○ 本大会に向けた実証のため、発着場所およびコースの一部を本大会同等規模で規制する。
○ 給水・給食所、沿道などにおけるボランティアの募集、ボランティアリーダーを育成する。
○ 応援スポットを設置し、自治会・公民館・婦人会等の地元住民による応援を実施する。
○ 飛び賞等にふくい桜マラソン優先出場枠を設定する。

1 大会名称

ふくい桜マラソン ＴＲＩＡＬ ＲＵＮ ２０２３

2 開催日時

2023年（令和5年）3月26日（日） 8：30

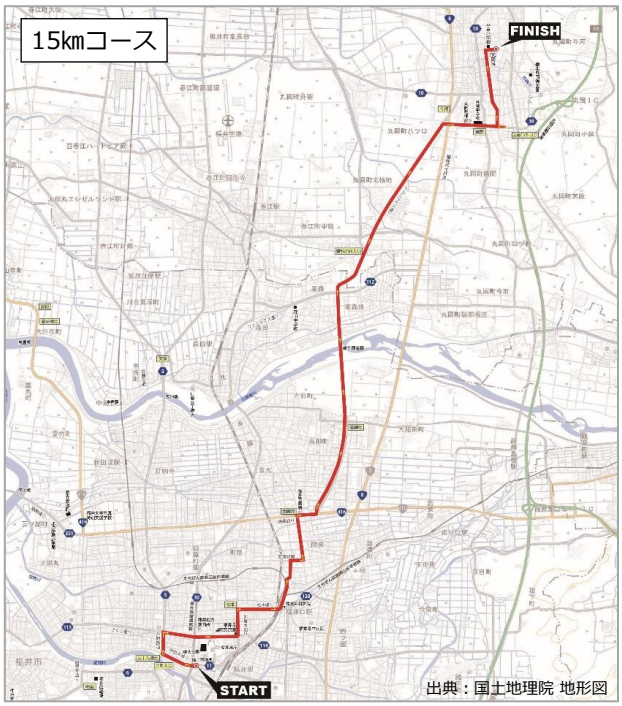
3 種目・定員・スタート時間・制限時間

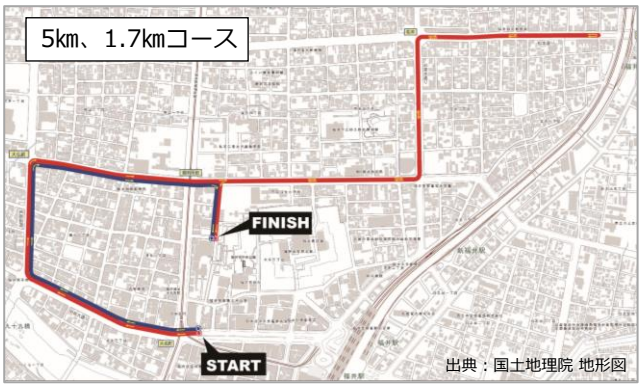
種目	定員	スタート時間	制限時間
15km	2,000人	8：30	2時間30分
5km	2,000人	8：45	50分
ﾁｬﾚﾝｼﾞ1.7km	1,000人	9：00	20分

4 その他

- 大会記念Ｔシャツの進呈
- 給水・給食所、応援スポットの設置
- ユニバーサルランの開催を検討
- 15kmフィニッシュ地点の丸岡城からシャトルバスを運行（丸岡駅行・福井駅行）

5 コース図 ※今後の調整で変更となる場合がある。





基本的な考え方

○ 「福井を走って世界を目指す」トップランナーの輩出、県内ジュニア選手の育成など、若手の成長物語を通して、地域に元気と勇気を与える大会を目指す。

トップランナーの支援・活用

著名ランナーを大会プロデューサーに迎え、「福井を走って世界を目指す」トップランナーの輩出や、県内ジュニア選手の育成事業を実施する。

以下の企画について、大会プロデューサーとともに検討・実施する。

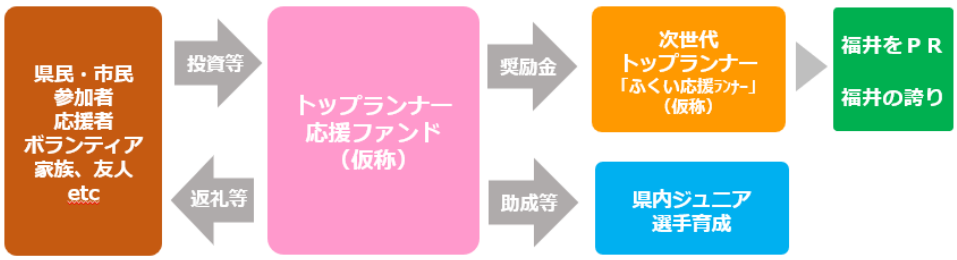
【企画イメージ】

<支援>

- 箱根駅伝等で活躍した次世代トップランナーを大会に招待
- 大会上位入賞者に対し、スポンサーやクラウドファンディング等を活用した応援ファンドから活動奨励金を贈呈
- 応援ファンドを原資とした県内ジュニア選手育成機関（地域スポーツクラブ等）への助成を実施
- 次世代トップランナーによる県内合宿や県内ジュニア選手との合同練習を実施

<活用>

- 大会上位入賞者を「ふくい応援ランナー（仮称）」に認定し、県民・市民で末永く応援
- 「ふくい応援ランナー（仮称）」が世界レベルの有名トップランナーになることで、福井をＰＲ
- 子ども達との交流の場を作り、スポーツへの関心や未来のトップアスリートを目指すきっかけを創出



4　地域への経済波及計画

基本的な考え方

○ 県外・国外から多くの参加者をお迎えするとともに、経済波及効果が最大化されるよう、福井の魅力を発信し、年間を通して来県いただけるリピーターを増やすことで、その効果を開催都市のみならず県全体に波及させる。

1 観光誘客の促進

福井の魅力を満喫してもらうため、大会出走権付ツアー、県外・国外からの参加者向けの観光周遊ツアーを企画・造成する。また、インバウンド対策として、海外に向けた情報発信等を実施する。

（取組例）県内温泉地・交通事業者と連携した商品開発
家族で来県する参加者向けの商品開発
リピーター獲得のためのプレゼント企画、情報発信
地元の方と触れ合うイベントの開催
海外のキーオピニオンリーダーを招聘した情報発信
海外の現地旅行代理店と連携した情報発信
航空会社への直行便運航の働きかけ　など

2 中心市街地等との連携

スタート・フィニッシュとなるＪＲ福井駅周辺、経由地の丸岡城周辺の商店街等と連携し、「ふく割」等を活用した消費拡大キャンペーンを検討する。

3 マラソンビジネスの創出

県内企業におけるマラソンを契機とした新商品等の開発支援を実施する。

4 福井の魅力発信・おもてなしの実施

参加者に福井の魅力とおもてなしを実感してもらうイベント・取り組みを実施する。

その１ おもてなしイベント（マラソンエキスポ）の開催

- ランナー受付に合わせ、企業出展ブースやステージイベント、物販など、ランナーやその同伴者、県民・市民、みんなに楽しんでもらえるイベントを開催

その２ エイドステーションにおける特産品等の提供

- 給水・給食所で魅力的な福井の食を提供

その３ 完走記念品等への地場産品の活用

- 完走記念メダルなどに福井の優れた地場産品を活用

5　広報計画

基本的な考え方

○ 大会の認知度を高めるため、対象者（県内、県外・国外）を意識した効果的な広報活動を実施する。

対象者別の周知・ＰＲ内容

項目	県内	県外	国外
大会開催の周知、機運醸成	○	○	○
ランナー募集	○	○	○
ボランティア募集	○	○	
交通規制の周知	○		
沿道応援の周知	○		

（活用媒体等）

- 大会ホームページ（英語・中国語・韓国語）による周知
- チラシ・ポスター、県・市広報誌、個別訪問、説明会などによる周知
- ＳＮＳ（Twitter、Facebook、Instagram等）による周知・ＰＲ
- 地元新聞社、テレビ、ラジオ、タウン情報誌等による周知・ＰＲ
- ランニング情報誌、ランナー向けインターネットサイトを活用したＰＲ
- 県内外のマラソン大会へのキャラバンや、各種イベントと連携したＰＲ
- 姉妹都市や友好都市と連携したＰＲ
- プレ大会など、ふくい桜マラソン関連イベントの開催による機運醸成
- 県内マラソン大会との連携事業による機運醸成
- 大会ＰＲサポーター隊による活動　　など

大会ＰＲサポーター隊

ふくい桜マラソンを全国にＰＲするため「大会ＰＲサポーター隊」を結成
第1回大会に向け、令和3年度に第１期200名程度を決定(予定)

<入隊要件>　ふくい桜マラソンを一緒に盛り上げたいという熱意のある方（18歳以上）

<活動内容>
①県内外のマラソン大会や普段の練習においてＰＲ用公式Ｔシャツを着て、ふくい桜マラソンをＰＲ
②準備委員会（実行委員会）が主催する各種イベントに参加、広報への協力
③ＳＮＳ（Twitter、Instagram等）で、ＰＲ活動や普段の練習の様子を、ハッシュタグをつけて投稿（ＰＲ用公式Ｔシャツを着用し投稿）

6　協賛等募集計画

基本的な考え方

○ 持続的な大会開催のため、大口協賛だけでなく、地元企業からも幅広く協賛を得ることで、地域全体で大会を支える仕組みを構築する。

1 協賛企業の選定方針

- 福井の文化、スポーツ振興に関心のある企業
- 運営に必要な物的、経済的支援が期待できる企業
- 福井の地元企業、ゆかりのある企業

2 協賛企業の区分 ※権利項目を段階的に付与

ゴールド	・・・	１～３社
シルバー	・・・	複数社
ブロンズ	・・・	複数社
その他	・・・	団体・個人を含めた小口協賛等

＜権利項目（例）＞

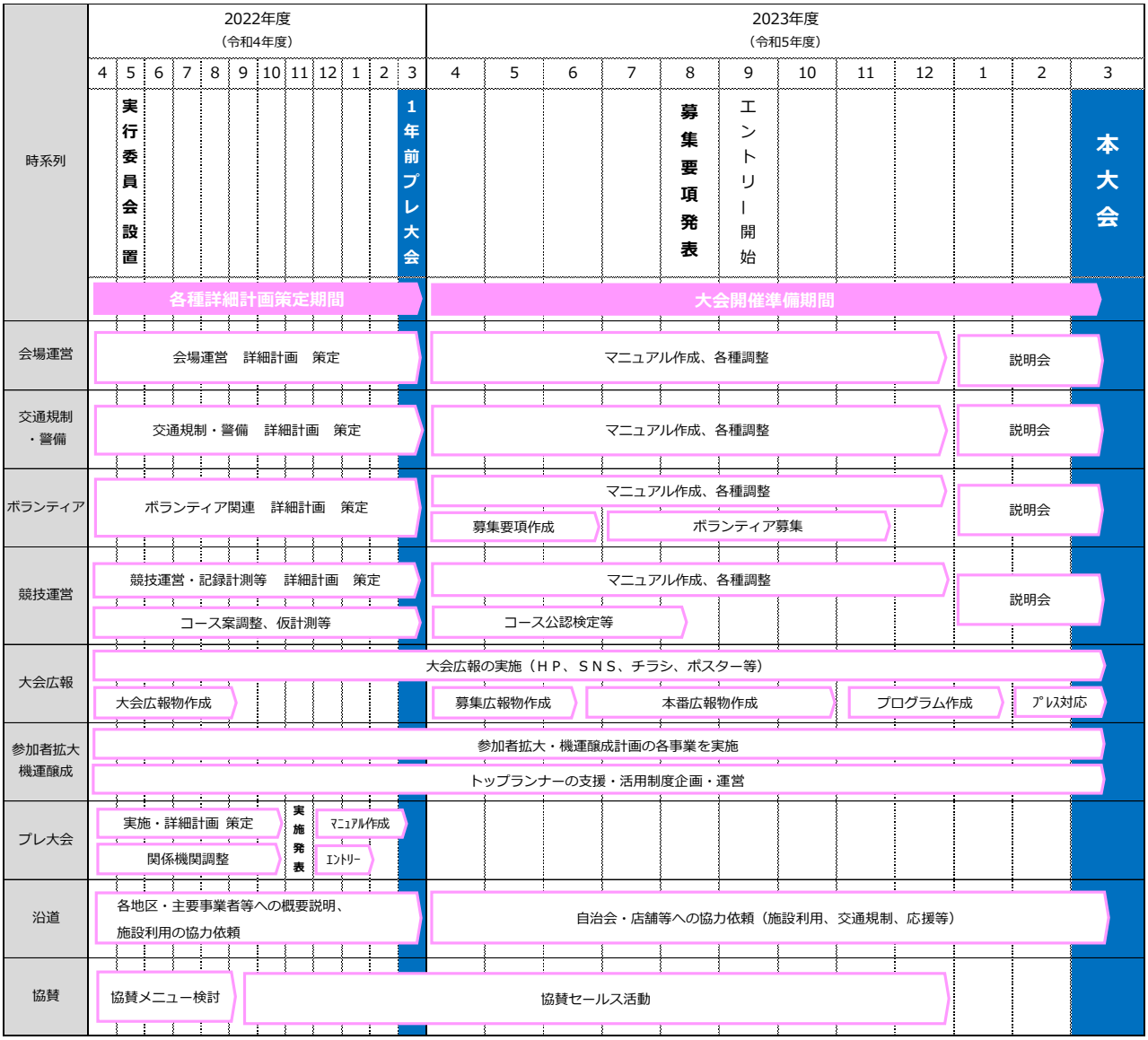
- ゼッケン広告
- スタート・フィニッシュ会場等での広告ボード等の設置
- スタート・フィニッシュゲートへの企業名ロゴ掲出
- ホームページ、プログラム、ポスターなど公式制作物への掲出
- 飲料、ウエア、自動車、時計等の物的支援によるＰＲ
- マラソンエキスポでの出展スペース
- 広告や自社商品における大会名、ロゴマークの使用権
- 参加者へのサンプリング調査
- 大会優先出場枠の確保
- ボランティア優先枠の確保　など

3 その他

個人・法人向けのふるさと納税、クラウドファンディング等による資金確保を実施する。

7　事業スケジュール

1 事業スケジュール



2 想定事業費

3.5億円程度（開催年度）

- 収入は、参加料、協賛金、行政負担金を想定
- 参考（他都市型マラソン）

大会名	参加定員	事業費
金沢マラソン2019	13,000人	約4.5億円
富山マラソン2019	14,000人	約3.4億円